

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	カムバックひょうごハローワークの民間との協働による機能強化（カムバックひょうごハローワークの運営）				部（局）	産業労働部
					所管課	労政福祉課
					担当班	雇用推進班
					連絡先	078-362-3227
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	—	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県
事業目的	首都圏等からのUJIターン促進のため、UJIターン就職希望者と県内企業とのマッチングを推進し、移住者及び若年労働力の確保を図る。					
事業概要	カムバックひょうご東京センターにカムバックひょうごハローワークを併設し、移住相談と一体的に職業紹介ができる体制を整備し、県内関係機関と連携しながら、ワンストップによる兵庫県内への就職支援を行う。 業務体制：所長1名（出会い・カムバックセンター庁が兼務、非常勤）＋課長1名（東京事務所所長補佐が兼務）＋就労相談員2名（会計年度任用職員、労働局OB、民間企業人事担当経験者） ※下線部を予算措置 開所日時：火～日 10:00～18:00（月・祝定休）					
これまでの改善状況	H29.4月～ カムバックひょうごハローワーク開設（大手町パソナビル）週4日（火水金土）開所 R2.11月～ ふるさと回帰支援センターへ週2日（木土）出張相談、週5日（火水木金土）開所に拡充 R3.4月～ ふるさと回帰支援センター（有楽町）へ移転し、週6日（火～日）開所に拡充 ※地域振興課設置のカムバックひょうご東京センター移住相談と連携して対応 R3.8月～ オンライン就職相談会の実施（毎月1回）					
業務フロー	相談依頼（移住・転職希望者）→受付・相談対応（県）→企業・求人情報提供、職業紹介等（県）					

区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	7,852 千円	7,977 千円	9,802 千円	9,888 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	7,571 千円	7,410 千円	8,012 千円	8,136 千円
		委託料	0 千円	0 千円	536 千円	462 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	281 千円	567 千円	1,254 千円	1,290 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(3,926千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(3,926千円)	(7,977千円)	(9,802千円)	(9,888千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,170 千円	8,842 千円	9,802 千円	9,888 千円
	執行率((①/②)×100)		96.1%	90.2%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
			2,520 千円	2,489 千円	2,621 千円	2,586 千円
職員給与費 a		2,181 千円	2,156 千円	2,282 千円	2,253 千円	
賞与引当金繰入額 b		175 千円	174 千円	175 千円	174 千円	
退職手当引当金繰入額 c		164 千円	159 千円	164 千円	159 千円	
総コスト(①+③)		10,372 千円	10,466 千円	12,423 千円	12,474 千円	

レビューシート

	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①) カムバックひょうごハローワークを通じた就職者数	目標	10	10	10	10		
		実績(見込)	10	7	(8)	(10)		
		(単位当たりコスト)	(1,037千円)	(1,495千円)	(1,553千円)	(1,247千円)		
		達成率(見込)	100.0%	70.0%	(80.0%)	(100.0%)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	活動指標(アウトプット指標①) カムバックひょうごハローワークでの就労相談件数	目標	130	130	130	130		
		実績(見込)	134	88	(113)	(130)		
		(単位当たりコスト)	(77千円)	(119千円)	(110千円)	(96千円)		
		達成率(見込)	103.1%	67.7%	(86.9%)	(100.0%)		
指	活動指標(アウトプット指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	活動指標(アウトプット指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
標	終期設定	有 ()					無	
	改善基準							
自 己 評 価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)				
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での来場者数減に伴い、相談件数が減少、オンラインを活用した相談や広報の強化が必要 ・民間の柔軟な発想と企画を活用した事業実施への移行が望ましい <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を踏まえ、首都圏大学キャリアセンターとの対応は、感染状況に応じて、訪問をオンラインに切り替えて対応 		<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度以降、コロナの影響を受けて、相談件数が減少、R3年度から新たにオンライン相談会やオンラインイベントを実施し、相談件数が持ち直しつつあるが、更なる増加には、民間活力の活用が必要 ・就職者数も同様に持ち直しつつあるが、更なる増加には、民間の知見や県内企業・関係機関との連携強化が必要 				
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
外部委員会意見	説明 } <ul style="list-style-type: none"> ・直執行から民間事業者の柔軟な発想と企画を活用した公募提案型事業に組み替え実施 ・民間の企画力を生かした広報力強化と、首都圏ニーズに合ったイベント等の開催により、実績増につなげる 							
改善結果								

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	スタートアップとの連携促進など異業種交流の活性化 (異業種交流活性化支援事業)				部(局)	産業労働部
					所管課	地域経済課
					担当班	経営支援班
					連絡先	078-362-3313
開始年度	平成26年度	終了年度	—	関連計画等	—	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	商工会議所連合会等
事業目的	消費者視点に立ち、従来の技術中心の異業種交流だけではなく、サービスや商業などのソフト事業も含む幅広い分野においてビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘する取組を支援し、新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等の促進を目指す。					
事業概要	県内の商工会議所、商工会、兵庫工業会、兵庫県工業技術振興協議会、兵庫県中小企業団体中央会の会員企業及びひょうご活性化センターの関係企業を中心メンバーとして活動する異業種交流グループに対し、交流会や研究・開発、販路開拓等に要する経費を補助(上限150万円/2年間)					
これまでの改善状況	引き続き集中支援することで販売・受注増や収益向上等の成果が見込まれるグループを対象に、追加で最大2年間の補助を実施する「ステップアップ支援枠」を創設(H29.4採択分～)					
業務フロー						
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額
	事業費①		53,580 千円	51,629 千円	57,355 千円	53,611 千円
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	51,930 千円	50,278 千円	56,306 千円	52,763 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	1,650 千円	1,351 千円	1,049 千円	848 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(44,133千円)	(42,700千円)	(28,677千円)	(26,805千円)
		(特定)	(44,133千円)	(42,700千円)	(28,678千円)	(26,806千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		88,266 千円	85,400 千円	57,355 千円	53,611 千円
	執行率((①/②)×100)		60.7%	60.5%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人
			4,453 千円	4,149 千円	4,368 千円	4,310 千円
職員給与費	a	3,854 千円	3,594 千円	3,804 千円	3,755 千円	
賞与引当金繰入額	b	273 千円	290 千円	291 千円	290 千円	
退職手当引当金繰入額	c	326 千円	265 千円	273 千円	265 千円	
総コスト(①+③)		58,033 千円	55,778 千円	61,723 千円	57,921 千円	

レビューシート

評価	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
	価	成果指標(アウトカム指標①) 新商品開発や販路開拓等の目的を達成できた異業種交流グループの割合	目標	60%	60%	60%	60%	
実績(見込)			81%	68%	(60%)	(60%)		
(単位当たりコスト)			(716千円)	(820千円)	(1,029千円)	(965千円)		
達成率(見込)			135.0%	113.3%	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標(アウトカム指標②)		目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
成果指標(アウトカム指標③)		目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
指	活動指標(アウトプット指標①) 異業種交流会の支援グループ数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	40	40	40	40		
		実績(見込)	26	28	(18)	(28)		
		(単位当たりコスト)	(2,232千円)	(1,992千円)	(3,429千円)	(2,069千円)		
		達成率(見込)	65.0%	70.0%	(45.0%)	(70.0%)		
	活動指標(アウトプット指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
	活動指標(アウトプット指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
標	終期設定	有 ()					無	
	改善基準							
自 己 評 価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)				
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	・異業種交流を通じた企業間のネットワーク構築のみならず、新商品開発等を通じた地域活性化にも繋がる効果的な事業である。 ・7~8割(目標6割)のグループが新商品開発や販路開拓等の目的を達成できたと回答しており、高い実績をあげている。		支援グループ数や、各グループの目的達成度の一層の向上が必要。また、ポストコロナを踏まえ、DXや新技術の活用等により多様なニーズに応える商品開発・販路開拓の取組が求められる。				
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	財源の工夫及び受益者負担の観点から、財源の1/2に法人県民税超過課税を充当している。						
課 題	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 } 各グループと、ICT等を活用した独創的なサービスの提供を強みとするスタートアップとの交流・連携を図り、グループの取組の充実と地域経済の活性化、ひいてはスタートアップのビジネスチャンスの創出にもつなげる。							
外 部 委 員 会 意 見								
改善結果								

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	コロナ禍を踏まえた地場産業の海外展開への支援 (地場産業海外展開支援事業)				部(局)	産業労働部		
					所管課	地域産業立地課		
					担当班	産地皮革班		
					連絡先	078-362-3331		
開始年度	令和2年度	終了年度	令和5年度	関連計画等	-			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	地場産地企業		
事業目的	県内地場産地企業の高付加価値化によるブランド力強化や戦略的な海外展開を促進するため、ひょうご海外ビジネスセンター等と連携し、海外展開を見据えた戦略策定から新製品・新技術開発等までトータルな支援を実施する。							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象：県内地場産地の中小企業等 ・補助対象事業：①海外展開戦略の立案、②海外市場向けの新製品・新技術の開発、③海外市場での販路拡大 (※②の取組は必須) ・補助率：1/2以内 ・補助対象限度額：5,000千円/年・最大3年間 							
これまでの改善状況	コロナ禍により、研究開発を伴う企業の海外展開活動が低調になっていることから、令和4年度の新規事業者の公募は行わない							
業務フロー	計画公募(県)→申請(事業者)→審査・採択(県)→補助金交付申請(事業者)→受付・審査(県)→交付(県)							
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額		
	事業費①		0千円	3,795千円	29,315千円	25,264千円		
	経費内訳	報酬・賃金		0千円	0千円	0千円		
		委託料		0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金		3,795千円	29,315千円	25,264千円		
		貸付金		0千円	0千円	0千円		
		その他		0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫)		(1,897千円)	(14,657千円)	(12,632千円)		
		(特定)		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(起債)		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)		(1,898千円)	(14,658千円)	(12,632千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載			25,000千円	29,315千円	25,264千円		
	執行率((①/②)×100)			-	15.2%	100.0%		
	人件費③ (a+b+c)		従事人員		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
				0千円	830千円	874千円	862千円	
	職員給与費 a		719千円	761千円	751千円			
	賞与引当金繰入額 b		58千円	58千円	58千円			
	退職手当引当金繰入額 c		53千円	55千円	53千円			
総コスト(①+③)			0千円	4,625千円	30,189千円	26,126千円		

レビューシート

評価	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標(アウトカム指標①) 海外展開に向けた新製品開発数 ※3年間で海外展開を行う事業であるため、 新製品開発が完了するのは概ね3年目	目標		0	0	4	4
実績(見込)				0	(0)	(4)		
(単位当たりコスト)			-	-	-	(6,532千円)		
達成率(見込)			-	-	-	(100.0%)		
成果指標(アウトカム指標②)		目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
成果指標(アウトカム指標③)		目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
指標	活動指標(アウトプット指標①) 新規補助事業企業開拓数	目標		5	4	4	4	
		実績(見込)		4	(3)	(0)		
		(単位当たりコスト)	-	(1,156千円)	(10,063千円)	(0千円)		
		達成率(見込)	-	80.0%	(75.0%)	(0.0%)		
	活動指標(アウトプット指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
	活動指標(アウトプット指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
目標	終期設定	有()・					(無)	
	改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)				
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など ○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	コロナ禍により、研究開発を伴う企業の海外展開活動が低調になっているため、新規申請者が少数にとどまっているとともに、採択事業者の事業実施も十分に行っていない。	コロナ禍による海外渡航制限や企業の経営悪化等により、研究開発を伴う企業の海外展開に対する姿勢が消極的になっており、申請件数及び事業実施が低調。					
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (企業の海外展開活動が困難な状況を踏まえ、社会情勢を反映した制度への改善を検討する。改善にあたっては、海外展開に訴求力を持つSDGsの取組への支援とし、引き続き地場産業のブランド力強化及び海外展開を推進する。)							
外部委員会意見								
改善結果								

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	コワーキングスペースにおける起業家交流環境の強化 (コワーキングスペース開設支援事業)				部(局)	産業労働部
					所管課	新産業課
					担当班	新産業創造班
					連絡先	078-362-4156
開始年度	令和元年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県地域創生戦略、ひょうごビジョン2050	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	
事業目的	地域における起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースの開設を支援					
事業概要	県内対象地域で新たにコワーキングスペースを開設する事業者に対し、施設の立上げに必要な経費を補助。 [補助内容] 運営支援型：賃借料、通信回線使用料、事務機器取得費等 補助対象経費の1/2以内 (県 1/4、市町 1/4) 整備支援型：建物改修費、事務機器取得費 補助対象経費の1/2以内 (県 1/4、市町 1/4) ※空き家活用の場合、改修費に対して別途100万円を上限に加算					
これまでの改善状況	R3：市町随伴に変更					
業務フロー	<div style="text-align: center;"> </div>					
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額
	事業費①		17,413 千円	16,401 千円	46,719 千円	25,591 千円
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	261 千円	104 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	17,358 千円	16,373 千円	45,619 千円	25,452 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	55 千円	28 千円	839 千円	35 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(33,000千円)	(16,250千円)
		(特定)	(8,305千円)	(8,805千円)	(9,153千円)	(6,349千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(9,108千円)	(7,596千円)	(4,566千円)	(2,992千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		17,413 千円	27,803 千円	46,719 千円	25,591 千円
	執行率((①/②)×100)		100.0%	59.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人
			4,200 千円	4,149 千円	4,368 千円	4,310 千円
職員給与費 a	3,636 千円	3,594 千円	3,804 千円	3,755 千円		
賞与引当金繰入額 b	291 千円	290 千円	291 千円	290 千円		
退職手当引当金繰入額 c	273 千円	265 千円	273 千円	265 千円		
総コスト(①+③)		21,613 千円	20,550 千円	51,087 千円	29,901 千円	

レビューシート

	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①) 起業・創業の拡大によるしごと創出数 (兵庫県地域創生戦略) ※起業家支援事業活用者の雇用人数(起業家本人除き)実績の累積値	目標	1,300	1,000	1,215	1,430	1,860	
		実績(見込)	1,098	1,448	(1,663)	(1,878)	【令和6年度】	
		(単位当たりコスト)	(20千円)	(14千円)	(31千円)	(16千円)		
		達成率(見込)	84.5%	144.8%	(136.9%)	(131.3%)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	活動指標(アウトプット指標①) コワーキングスペース開設支援件数 (兵庫県地域創生戦略)	目標	6	8	8	8	8	
		実績(見込)	7	9	6	(8)		
		(単位当たりコスト)	(3,088千円)	(2,283千円)	(8,515千円)	(3,738千円)		
		達成率(見込)	116.7%	112.5%	(75.0%)	(100.0%)		
指	活動指標(アウトプット指標②)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
指	活動指標(アウトプット指標③)	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	—	—	—		
標	終期設定	有 ()					無	
	改善基準							
自 己 評 価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)				
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など 	<p>新型コロナ感染拡大の影響により、地方でのワークスペースとして、コワーキングスペースへの注目が高まっており、上記の通り設定した目標も概ね達成できている。</p> <p>令和3年度より整備支援、運営支援ともに市町随伴制度となり、県内全域に制度が広まりつつある。</p>	<p>・新型コロナ感染拡大の影響により、地方でのワークスペースとして、コワーキングスペースへの注目が高まっているため、起業家支援拠点としてその需要を見定めながら、引き続き県内コワーキングスペースの開設を支援していく。</p> <p>・さらに起業家のさらなる成長、イノベーション創出を促すには起業家同士の交流が不可欠であり、交流環境整備に尽力する。</p>					
課 題 ・ 今 後 の 方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
	説明 { ワークーションなどでの県外からの利用者や、起業家同士のざっくばらんな交流を促すため、評価ポイント改善による交流環境整備を行う事業計画作成の促進や、補助対象経費の拡充により、起業家交流のさらなる広がりを目指す。							
外部委員会意見								
改善結果								

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	新規団体の参入促進などを通じた県民芸術劇場の活性化 (県民芸術劇場の開催)				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	事業調整班
					連絡先	078-362-3171
開始年度	平成3年度	終了年度	—		関連計画等	—
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むため、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図る。					
事業概要	公立文化施設、学校(小学校、高校)を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。					
これまでの改善状況	H23: 学校公演のうち中学校公演を当面の間停止(中学生を対象とする他事業があるため)					
業務フロー	(公財)芸術文化協会より、地元主催者(学校・施設等)へ実施希望を調査、希望に応じて、公演団体への依頼、出演料の支払を行う。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <pre> graph TD A[公演団体] -- ②公演依頼 --> B[協会] B -- ④補助 --> C[県] B -- ①希望調査 --> D[主催者] D -- ③出演料支払 --> B </pre> </div>					
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額
	事業費①		35,985 千円	40,410 千円	28,770 千円	17,896 千円
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料				
		補助金・交付金	35,985 千円	40,410 千円	28,770 千円	17,896 千円
		貸付金				
		その他				
	(財源内訳)	(国庫)				
		(特定)	(35,985千円)	(40,410千円)	(28,770千円)	(17,896千円)
		(起債)				
		(一般財源)				
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		36,785 千円	91,215 千円	28,770 千円	17,896 千円
執行率((①/②)×100)		97.8%	44.3%	100.0%	100.0%	
人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
			840 千円	830 千円	874 千円	862 千円
職員給与費 a		727 千円	719 千円	761 千円	751 千円	
賞与引当金繰入額 b		58 千円	58 千円	58 千円	58 千円	
退職手当引当金繰入額 c		55 千円	53 千円	55 千円	53 千円	
総コスト(①+③)		36,825 千円	41,240 千円	29,644 千円	18,758 千円	

レビューシート

指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標(アウトカム指標①) 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」	目標			40.0%	50.0%	
		実績(見込)	38.2%	37.1%	37.1%	(40.0%)	
		(単位当たりコスト)	(96,400千円)	(111,158千円)	(79,902千円)	(46,895千円)	
		達成率(見込)	--	--	--	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
指標	活動指標(アウトプット指標①) 県民芸術劇場の公演数	目標	110	130	93	60	
		実績(見込)	108	46	(68)	(60)	
		(単位当たりコスト)	(341千円)	(897千円)	(436千円)	(313千円)	
		達成率(見込)	98.2%	35.4%	(73.1%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②) 県民芸術劇場の鑑賞者数(21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	
		実績(見込)	89,806	30,777	(120,000)	(120,000)	
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(1千円)	(0千円)	(0千円)	
		達成率(見込)	74.8%	25.6%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
終期設定	有()					無	
改善基準	指標達成率50%未満で改善を検討						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地(R3:22市9町)で開催しており、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。		R2年度以降は、新型コロナウイルスの影響で公演の中止が相次ぎ、予算執行率や評価指標の達成率が大きく落ち込んでいるものの、コロナ禍前は、予算を上回る応募のあったニーズの高い事業であり、R4からは応募数も再び増加に転じている。			
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	(公財)兵庫県芸術文化協会が中心となり事業を実施することで、同協会が有する文化施設・文化団体とのネットワークを活かした効率的な事業実施ができています。また、一般公演は有料(入場料の上限あり)としており、受益者負担も適正に行っている。					
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (今後は、新たな公演団体の参画や公演内容の改善を検討し、より魅力ある公演の実施を通じて、コロナ禍で減少した芸術文化団体の活動や県民の芸術鑑賞機会の回復に努めていく。)						
外部委員会意見							
改善結果							